

3年	算数	小数	児童2名
----	----	----	------

指導者 ○○ ○○

1.学年及び単元の目標と評価規準（第3学年）

見・考	事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道立てて考え、統合的・発展的に考えること		
学年の目標	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
	(前略) 小数及び分数の意味と表し方(中略) などについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数などの計算をしたり(中略) 表やグラフに表したりすることなどについての技能を身につけるようにする。	数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力を養う。	数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理の良さに気付き生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の目標	小数が用いられる場合や小数の表し方、 $\frac{1}{10}$ の位について知り、小数の意味について理解し、小数を用いて表すことができる。また、 $\frac{1}{10}$ の位までの小数の加法及び減法について理解し、計算をすることができる。	端数部分の大きさを0.1のいくつ分として表す小数のしくみを十進位取り記数の考えをもとに考えている。また、 $\frac{1}{10}$ の位までの小数の加法、減法の計算のしかたを、既習の計算をもとに図や式を用いて考えている。	$\frac{1}{10}$ の位までの小数の加法、減法の計算の仕方を考えようとしている。また、小数を用いると整数で表せない端数部分の大きさを表すことができるなどのよさに気づき、進んで日常生活や学習に活用しようとしている。
	評価1	評価2	評価3

2.活動構成(児童の実態)

【学級の様子】～省略

単元計画 本時(4/11)

<p>【第1次】小数の表し方(1～5時)</p> <p>①小数の意味と表し方、「小数」「整数」の用語を理解する。</p> <p>②長さを小数で表すことをとおして、小数の構成と表し方について理解を深める。</p> <p>③十進位取り記数法の小数への拡張、「小数点」の用語、小数の相対的な大きさや10倍、<math>\frac{1}{10}</math>倍にした大きさについて理解する。</p> <p>④小数と整数の大小比較について理解する。〔本時〕</p> <p>⑤小数と分数の大小比較について理解する。</p> <p>評価1(観察) ノート 評価2(観察)</p>
<p>【第2次】小数のたし算、ひき算(6～10時)</p> <p>⑥繰り上がりのない小数の加法計算を理解し、筆算ができる。</p> <p>⑦⑧繰り上がりのある小数の加法計算ができる。答えが整数になる場合と、整数と小数の加法計算ができる。</p> <p>⑨繰り下がりのない小数の減法計算を理解し、筆算ができる。</p> <p>⑩繰り下がりのある小数の減法計算、整数と小数の減法計算ができる。</p> <p>評価1(観察) ノート</p>
<p>【第3次】まとめ(11時)</p> <p>⑪基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。評価1(定着問題) 評価3(自己評価)</p>

【単元について】

本単元は、分数の学習のあとに実施する。1に満たない端数部分の大きさの別の表し方として、小数を用いることを知り、小数の意味や表し方、小数の加法及び減法について理解することをねらいとしている。学級の様子を踏まえ、小数の大小比較の場面などで言語活動を積極的に取り入れ、自分の考えを図や言葉を用いて表す機会を増やしたい。また、この学習を通して、小数が日常生活のいろいろな場面で活用されていることに着目させ、進んで生活に生かそうとする態度を育てていきたい。

3.本時案(第3学年4/11)

本時の目標

- ・小数と整数の大小比較のしかたを考え、説明できる。

展開	学習活動(○)と子どもの姿	教師の支援(☆)と評価(◇)
課題把握	問題提示(5) ○単元の計画に基づいた振り返りを行い、本時の学習の見通しをもつ。 ○問題を確認する。 2.8と3では、どちらが大きいでしょうか。	☆児童が学習の連続性を意識できるように、前時までの児童のノートの画像をテレビに写し学習を振り返る。 ・整数と小数はそれぞれどのようなものか、2.4は1を2こと、0.1を4こ合わせた数などということを確認する。
	問いをもつ(2) ○問題の意味を確認する。自分の考えをノートに書く。 ・3の方が大きいと思う。	
	課題設定(3) ○課題を確認する。 小数と整数の大きさのくらべ方を説明しよう。	☆本時の課題を提示する。
解決活動	問いの共有(2) ○解決の見通しをもつ。 小数のしくみから一の位に着目したり、もともになる数の何個分かて考えたり、数直線に表したりしたことをふり返る。	☆既習事項を使って小数と整数の大小を比べるには、どんな方法があるか一緒に確認する。
	思考・解決(15) ○個人で理由を考え、ノートに書く。 ○2人の意見を交流する。(まだ他の説明のしかたはないか、相談する。) ○考えたことを発表する。 (予想される児童の答え) 2.8と3では、3の方が大きい。理由は、一の位の数字を比べると3の方が大きいからである。2.8は0.1が28こ分で、3は0.1が30こ分だから、3の方が大きい。2.8と3を数直線に表すと、3の方が右にあるので、3の方が大きい。1Lますを使って考えると3の方が大きい。 ※友だちの考えや、二人の考えもノートに書く。	☆児童のノートをテレビに写す。児童はテレビに写った自分のノートを見ながら考えを説明する。 ◇評価2 小数と整数の大小比較のしかたを考えて説明できている。〈発言、ノート〉
まとめ	まとめ(8) ○今日の学習内容を振り返り、まとめる。 同じ位の数をくらべたり、数直線や1Lます、0.1の何こ分かて表したりしてくらべる。	☆説明のときに大切なことは何だったかを確認し、児童の言葉を使いながらまとめる。
振り返り	振り返り(10) ○教科書のたしかめ問題をノートに貼り、取り組む。 ※p.66[6]は、今日の学習を踏まえ、どうしてこの答えになったか自分の考えを説明する。 ○学習を振り返り(ノート)、次時への見通しをもつ。	◇評価1、評価2 小数と整数の大小を理解し説明できている。〈発言、ノート〉 ☆整数と同様、小数も同じ位の数を比べたり、数直線に表したり、0.1をもとにして考えたりすることで、大小比較ができることを確認する。

4.板書計画

11月14日(木) p.66

2.8と3では、どちらが大きいでしょうか。

3の方が大きい。

小数と整数の大きさの比べ方を説明しよう。

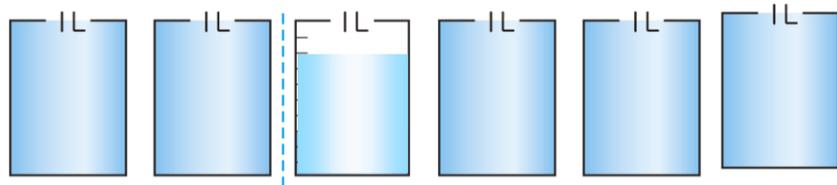
○自分の考え

2.8と3では、          の方が大きい。その理由は、

- ・一の位の数字を比べると3の方が大きいから。  $2.8 < 3$
- ・2.8は0.1が28こ分で、3は0.1が30こ分で、3の方が大きいから。
- ・2.8と3を数直線に表すと3の方が右にあるので、3の方が大きい。



- ・1Lますを書いて考えると2.8より3の方が大きいから。



○友だちの考えや2人の考え

同じ位の数をくらべたり、数直線や1Lます、0.1の何こ分かで表したりしてくらべる。

たしかめ6

- ①  $0.8 < 1.1$
- ②  $10.2 > 9.7$
- ③  $0.1 > 0$

たしかめ7

- ① 1を7こと、0.1を2こあわせた数 7.2
- ② 53と0.4をあわせた数 53.4
- ③ 0.1を58こあつめた数 5.8
- ④ 0.1を581こあつめた数 58.1

たしかめ8

